味口（あじぐち） としゆき

神戸市会議員

1969年神戸市生まれ神戸市育ち。大阪経済大学経営学部卒、商船港運（株）勤務。
阪神・淡路大震災を機に、25歳で会社をやめ、救援復興ボランティア、生活再建運動に取り組む。その後、若い世代の雇用問題や大学生の高学費問題などの改善にかけ回る。
その経験から、「困っている人をほっておけない」と2011年市会議員に立候補、初当選、現在３期目。趣味／銭湯めぐり・ボウリング。
家族は妻・息子（小学校5年生）

東郷（とうごう） ゆう子

党灘区県政対策委員長

1982年６月８日神戸市生まれ。灘民主商工会事務局員。神戸星城高等学校卒業。家族は夫と娘２人。

灘区から県政・市政コンビの実現を 日本共産党

岸田自公政権の暴走STOP― 日本を戦争する国にさせない！

戦争の心配のないアジアへ いま必要なのは対話の外交です

戦争をおこさないための外交に知恵と力をつくす―これこそ政治のやるべきことです。

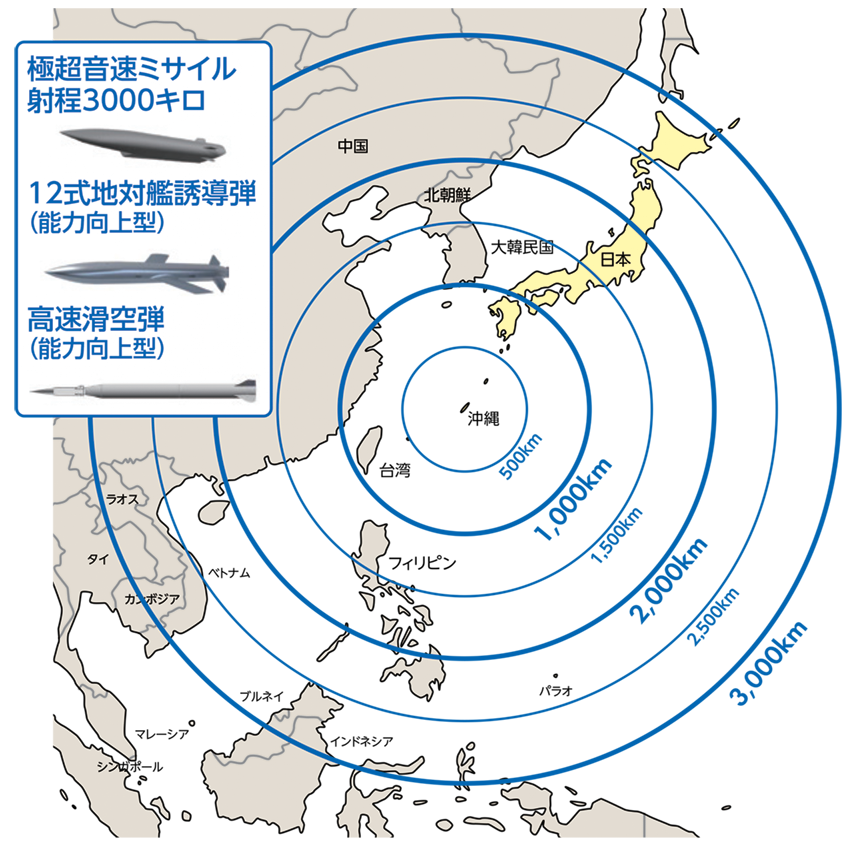
日本が攻撃されていなくても武力行使

「安保3文書」では、日本が攻撃されていなくても、敵基地攻撃能力を使って、アメリカと一緒に相手国を武力攻撃できると明記。事実上の先制攻撃です。相手国の報復攻撃を招き、日本が焦土と化してしまいます。

自衛隊が米軍と「融合」するミサイル防衛

「統合防空ミサイル防衛」（IAMD）で、米軍と同盟国の軍隊は一つのチームに「融合」されます。アメリカが先制攻撃を開始すれば、米軍指揮下で自動的に日本が違法な戦争に参加することになってしまいます。

敵基地攻撃能力で配備予定のミサイル　アジア全域を射程に



原油価格・物価高騰対策を

物価高騰が暮らしと経済を直撃しています。

働く人の賃金を上げ、最低賃金1,500円を実現します。アベノミクスで大儲けした大企業の内部留保に時限的に課税し、その財源で中小企業の賃上げを支援します。

経済の主役である庶民の購買力を上げるため消費税の減税、物価高騰にみあう年金引き上げを求めます。

大軍拡 大増税 NO！

武器より、暮らし・子育てに予算を！

子育て・教育応援

- 世界一高い大学学費の軽減
- 給付型奨学金の拡充
- 義務教育の給食費無償化
- 高校3年生まで医療費をゼロに
- 県立高校統廃合計画を見直し、少人数学級の実現を
- 3歳未満の保育料無料。保育士を増やして安全安心の保育所を

福祉・医療

- 国民健康保険料・介護保険料を引き下げます
- 病床削減、病院統廃合STOP！地域医療を守ります
- 保健師を増やして、保健所体制を強化します
- 障がい者が安心して暮らせるための施策拡充

ジェンダー平等＆多様性を認め合う社会を

- ジェンダー不平等の根本にある男女の賃金格差をなくします
- 国籍・肌の色・宗教・門地・性別・LGBTQ・思想信条などで人々が差別されることのない多様性を認め合う社会を実現します

環境

- 神鋼石炭火力発電所の停止を
- 再生可能エネルギーを増やし、CO_2ゼロへ

灘区民報 2023年3月号外　発行：日本共産党東灘・灘・中央地区委員会　神戸市灘区灘南通5丁目2-2-1　日本共産党東灘・灘・中央地区委員会の見解を紹介します。

みなさんと力をあわせ声を届け、建設的提案で実現 日本共産党議員団

こどもの医療費助成、高校生まで拡大実現！

こどもの医療費助成がついに高校卒業まで拡充することになりました。外来医療窓口負担が10月から400円となります。子育て世代からは「物価高騰のなかで助かるね」の声があがっています。

日本共産党は、こどもの医療費助成を進めるため、市民のみなさんと力を合わせ署名を集めながら、通算90回議会で質問するなど実現へ全力をあげてきました。引き続き、完全無料化を求めます。

あたたかい・みんなで食べる 中学校給食ついに実現！

六甲小学校前で署名を集める

味口としゆき市議は2011年初当選以降、市民のみなさんと9万を超える署名を集め、中学校給食を2017年に実現。

しかし、デリバリー弁当方式の給食は、「冷たい、美味しくない」と、不評でした。

味口としゆき市議は、転換を粘り強く求め、繰り返し議会で取り上げ、ついに「全員で食べるあたたかい中学校給食」が2025年度からはじまります。

大学誘致ではなく王子公園・王子動物園の充実を

王子動物園前で署名を呼びかける

「大学誘致ではなく、王子公園・王子動物園の充実を」もとめる署名は、6万5千人を超えるなど、市民・灘区のみなさんの民意は明確です。

ところが、久元市長は、王子公園の「売却」を公言。一度、切り売りされれば、二度と元には戻りません。

来年度神戸市予算案では、突如、王子公園内にある旧ハンター邸が移築されることが発表されました。2013年12月から神戸市は、ずっと旧ハンター邸は「存続」としてきました。

「王子公園再整備基本方針」が決定された直後の「移築」発表は、あまりにも市民不在です。味口としゆき議員は、2月24日議会でこの問題を取り上げ、「大学誘致のために文化財まで犠牲にするやり方はやめるべきだ」と求めました。

味口としゆき市議・東郷ゆう子県政対策委員長は、灘区のみなさんとご一緒に、声をあげ続けます。

県政・神戸市政 今こそ逆立ち政治転換し　いのち・暮らし最優先に

兵庫県はコロナ死亡者(人口当たり)が多い県です。県政が病床削減と保健所つぶしを継続し、医療が脆弱な県にしてしまったからです。

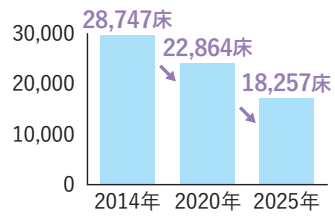
一方、高速道路など不要不急の大型開発は借金を重ねても継続。

神戸市は、来年度予算案で神戸空港の国際化128億円、都心・三宮再整備106億円、市役所整備18億円、ウォーターフロント整備50億円、湾岸道路31億円、戦略港湾96億円など、無駄な大型開発路線を強行しています。

インバウンド、大企業・IT企業などの呼び込み型ではなく、市民の雇用創出や中小企業応援、地場産業の活性化など、内需をあたためてこそ神戸らしい経済発展ができます。

病院のベッド削減

地域医療構想で急性期病床1万490床削減計画。急性期(稼働病床)ーすでに5年間で5,883床削減



保健所を減らした

1997年 9カ所 ▶▶▶ 現在 1カ所

神戸空港国際化　新地下鉄構想ストップを

自民・公明・維新・立憲・国民は、神戸空港には「市税は投入しない」とした決議をほごにし、「あらゆる財源を積極的に活用」する決議を強行しました。これを受けて久元市長は600億円の空港拡張工事にとどまらず2,400億円もの地下鉄延伸構想をうちだしました。

国際化に乗じた無駄な大型開発はやめるべきです。

なによりいのちと暮らし優先を求めて

無料PCR検査実施、各種給付金制度を実現

党県議団・神戸市議団は、県・神戸市に繰り返し新型コロナ対策の申し入れを実施。無料検査の拡充、病床確保、保健師の増員などを実現。コロナ禍で暮らしと営業を支援する各種の給付金制度も実現しました。

病床確保と保健所の増設、保健師増を要求

病床削減を中止し、急性期病床等を十分確保すること、保健所は人口10万人に1カ所、50カ所に増設することを求めています。

自民・公明・立憲・国民・維新が知事と市長提案の予算・議案にすべて賛成し市民犠牲を続けています。

議会と行政をチェック　不正と腐敗をただす

地域の切り捨て計画許さず

2019年、神戸市は駅から離れた地域の責任を放棄する「都市空間向上計画」(素案)を発表。日本共産党は、灘区北部地域を切り捨てる計画を調査、告発しました。神戸市は計画を見直しました。

土山町、六甲台町、鶴甲、篠原台、篠原伯母野山町2・3丁目、篠原、長峰台1・2丁目、箕岡通1丁目、水車新田、大月台

▲日本共産党議員団作成のビラ

旧統一協会との癒着をただす

県議会の自民党会派に所属する9人の議員が旧統一協会と関係をもっていました。

神戸市では、自民党市議の仲介で市の幹部職員が旧統一協会関連団体のイベントに参加したり、神戸市が旧統一協会から寄付を受け取り市長名で感謝状を出し、助成金も出していました。

旧統一協会は、政治家を広告塔に使うなど政治家との結びつきを使って、被害を広げてきました。

旧統一協会との癒着を一掃し、神戸市の民主主義を守ります。

議案・陳情に対する各会派の賛否一覧

(○採択、×不採択、■審査打切) ※請願は、紹介議員の可否

2022年に神戸市議会で議論された主なもの		日本共産党	自民党	公明党	日本維新の会	立憲民主党	つなぐ	共創・国民民主	結果
請願 紹介議員	大学誘致撤回 王子公園・王子動物園の充実	○	×	×	×	×	×	×	審査未了
議案	2022年度一般会計予算	×	○	○	○	○	×	○	承認
陳情	少人数学級実現	○	×	×	■	×	○	―	不採択
陳情	同性パートナーシップ制度創設	○	■	○	○	○	○	―	採択
陳情	学校給食の無償化	○	■	■	■	■	○	―	審査打切
陳情	補聴器購入の公的助成	○	■	■	■	■	○	―	審査打切
決議	神戸空港国際化600億円への市税投入	×	○	○	○	○	×	○	可決